

平成 16 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 デジタルアーツ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 道具 登志夫
コ ー ド 番 号 2326 大阪証券取引所 ヘラクレス市場
問 合 せ 先 取締役経理本部長 後藤 茂
(TEL 03-5485-1340)

平成 16 年 3 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 15 年 11 月 7 日の「平成 16 年 3 月期 中間決算短信」発表時に公表した平成 16 年 3 月期通期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	950	201	110
今回修正予想(B)	630	63	109
増減額(B-A)	320	265	219
増減率(%)	33.7	131.4	199.7
前年同期実績(平成 15 年 3 月期)	681	5	5

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

2. 修正の理由

セキュリティ事業において、公共向け製品の売上が学校等を中心に IT 関連機器の設備投資に対する財政悪化の影響により、当第 3 四半期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日)における売上高で 123 百万円(前年同期比 59.8%)となりました。通期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)では当初の売上予想 196 百万円に対して 60 百万円前後の乖離が生じる見込みです。

ビジネス向け製品では、前年実績 289 百万円のうちその他セキュリティ関連製品の売上を除いた「i-フィルター Business Edition」の売上が 229 百万円であったことに対し、通期見込みでは約 3 割増の 300 百万円程度の売上を予想しております。しかしながら、通期の売上高を前年実績 289 百万円の約 4 割増の 400 百万円程度と予想しておりましたが、この第 4 四半期(平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)において前年のような駆け込み需要やその他セキュリティ関連製品の売上が見込めないこともあり、全体金額で前年並みの 300 百万円前後となり約 100 百万円の乖離が予想されます。加えて、当社主力製品「i-フィルター Business Edition」をファイアウォールに組み込んだアプライアンスサーバーの販売による新規事業の売上を 125 百万円程度見込んでおりましたが、昨今のファイアウォールにおける競合他社の販売状況等から本新規事業への展開を一端中断したことにより、この新規事業の売上が当期の売上予想と乖離が生じております。これらの結果、当初の売上予想 531 百万円に対して、230 百万円前後の乖離が生じる見込みです。

また、上記の通りセキュリティ事業における新規事業展開を中断したことに関連し、販売を予定しておりましたハードウェアの在庫等の除却処理を行うとともに、販売を中止したパッケージ製品等の在庫整理を実施いたします。このことに伴い損失 100 百万円程度を計上する予定です。

以上の結果、平成 15 年 11 月 7 日に「平成 16 年 3 月期 中間決算短信」にて発表した売上高、経常利益及び当期純利益におきましても公表数値を下回る見込みとなりましたので、業績予想の下方修正を発表いたします。

3. 今後の見通しについて

来期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)を含め今後の見通しや経営活動に関しましては、内容が具体的に決定次第、情報開示してまいります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上